

仙台市荒井西土地区画整理事業
環境影響評価に係る
事後調査報告書（工事中その4）

平成29年11月

仙台市荒井西土地区画整理組合

目 次

仙台市荒井西土地区画整理事業環境影響評価に係る事後調査報告書(工事中その4)概要	0-1
第1章 事業者の氏名及び住所	I-1
1.1 事業者の氏名及び住所	I-1
第2章 対象事業の名称、目的及び内容	II-1
2.1 対象事業の名称等	II-1
2.2 対象事業の実施区域	II-2
2.3 対象事業の目的等	II-3
2.4 事業計画の内容	II-4
2.5 対象事業に係る工事及び供用の進捗状況	II-38
第3章 対象事業に係る評価書に記載された関係地域の範囲	III-1
第4章 環境保全及び創造のための措置の実施状況	IV-1
4.1 工事中の保全措置の実施状況	IV-1
4.2 注目すべき植物の移植状況	IV-10
第5章 事後調査の実施状況	V-1
第6章 事後調査の結果及び予測の検証	VI-1-1
6.1 水質	VI-1-1
6.2 土壌	VI-2-1
6.3 植物	VI-3-1
6.4 動物	VI-4-1
6.5 生態系	VI-5-1
6.6 自然との触れ合いの場	VI-6-1
6.7 廃棄物等	VI-7-1
第7章 事後調査及び検証結果に基づく環境保全措置の検討	VII-1
7.1 大気質	VII-1
7.2 騒音	VII-1
7.3 振動	VII-2
7.4 水質	VII-2
7.5 土壌	VII-2
7.6 植物	VII-2
7.7 動物	VII-2
7.8 生態系	VII-3
7.9 景観	VII-3

7.10 自然との触れ合いの場	-----	VII-3
7.11 廃棄物等	-----	VII-4
第8章 委託を受けた者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	-----	VIII-1

本書に掲載した地図は、国土地理院発行の1:25,000地形図(仙台東北部、仙台東南部 平成20年10月1日発行)または基盤地図情報を基図として使用している。

▶ 仙台市荒井西土地区画整理事業環境影響評価に係る 事後調査報告書（工事中その４）概要

調査項目	調査結果の概要																																	
環境保全措置の実施状況等	<p>評価書に記載した環境保全措置を引き続き実施した。</p> <p>移植を行った注目すべき植物の生育状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジイチゴ、ヒロハヤマトウパナ、フジバカマは活着して良好な状態であった。 ・エゾタンポポ、ネズミノオは、採取した種子を発芽させ、生育を行っている。 ・マコモの移植個体、イチョウウキゴケ、マツモ、マキエハギはその後も新たな確認はなかった。 ・追加で移植した、カワラヨモギは活着、開花・結実した。 																																	
水質	<p>降雨時の浮遊物質濃度を測定した。いずれも環境保全目標を上回ることはなかったが、最下流部は降雨時に最大 85 mg/L になり、高い値となった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="7" style="text-align: center;">降雨時 SS 濃度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4" style="text-align: center;">SS (mg/L)</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">降水量 (mm/hr)</th> <th style="text-align: center;">SS 排水基準</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">地点②'</th> <th style="text-align: center;">地点③</th> <th style="text-align: center;">地点④</th> <th style="text-align: center;">地点⑤</th> <th style="text-align: center;">仙台市公害防止条例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">平成 28 年 8 月 17 日</td> <td style="text-align: center;">31~83</td> <td style="text-align: center;">4~14</td> <td style="text-align: center;">25~85</td> <td style="text-align: center;">4~12</td> <td style="text-align: center;">0~14</td> <td style="text-align: center;">200mg/L</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 29 年 3 月 21 日</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;"><1~22</td> <td style="text-align: center;">5~14</td> <td style="text-align: center;">0~1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	降雨時 SS 濃度								SS (mg/L)				降水量 (mm/hr)	SS 排水基準	地点②'	地点③	地点④	地点⑤	仙台市公害防止条例	平成 28 年 8 月 17 日	31~83	4~14	25~85	4~12	0~14	200mg/L	平成 29 年 3 月 21 日	-	-	<1~22	5~14	0~1	
降雨時 SS 濃度																																		
	SS (mg/L)				降水量 (mm/hr)	SS 排水基準																												
	地点②'	地点③	地点④	地点⑤		仙台市公害防止条例																												
平成 28 年 8 月 17 日	31~83	4~14	25~85	4~12	0~14	200mg/L																												
平成 29 年 3 月 21 日	-	-	<1~22	5~14	0~1																													
土壌	盛土実施箇所において締固め管理を行い、サウンディング試験により十分に強度を有していることを確認した。																																	
植物	事業区域内は改変され、植生のほとんどが消失した。一方で、盛土材由来と思われる個体も見られ、注目すべき種に指定されているカワラヨモギが新たに確認された。																																	
動物	注目すべき種の多くは、造成が進んだことにより事業区域での確認が減少したが、工事は収束したことから、事業区域、周辺区域ともに確認が増えている種も確認された。																																	
生態系	種によっては、事業区域内において生息が確認されたが、多くは南東方向への自発的な移動が進んでいる。農耕地生態系から市街地生態系へ移行する過渡期にあると考えられる。																																	
自然との 触れ合いの場	梅ノ木の居久根は伐採されたが、もともと利用がなかったことから触れ合いの場としての影響は最小限であったと考えられる。 その他の触れ合いの場は特に変化はなかった。																																	
廃棄物等	<p>発生した廃棄物は、アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、廃プラスチック類、紙くず、木くず、混合廃棄物（管理型含む）であり、リサイクル業者に委託し適正に処分を行った。</p> <p>平成 28 年 3 月 1 日から平成 29 年 4 月 30 日までの再資源化率は 99.9% となった。</p> <p>また、一部、性状により再利用ができない土壌については残土として処分を行い、工事開始から平成 29 年 4 月までの搬出土量の合計で 130,619m³ となった。</p>																																	

▶ 第1章 事業者の氏名及び住所

1.1 事業者の氏名及び住所

事業者の氏名及び住所は、表 1.1-1 に示すとおりである。

表 1.1-1 事業者の名称及び所在地

項 目	内 容
事業者	仙台市荒井西土地区画整理組合
代表者の氏名	理事長 伊藤 敬一郎
主たる事務所の住所	宮城県仙台市若林区荒井字梅ノ木 101 番地
電話番号	022-287-0850